



## 公民館活動も徐々に再開

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、多くの公民館活動が延期・中止となっていました。徐々に再開されてきました。

### 春の軽井沢野鳥の森 ウォーキング

5月23日(月)、好天に恵まれて、今井公民館・今井地区福祉ひろば共催の自然観察会に24人が参加しました。



午前は「軽井沢野鳥の森」を散策しました。講師は、信州野鳥の会顧問の上條恒嗣さんです。時々足を止め、鳥の

鳴き声の特徴や野草の見分け方や食べ方を説明してくれました。

また、オオルリは枝の先端のほうに止まるとか、アカゲラは垂直の幹をらせん状にのぼるなど、鳥の見つけ方や行動の特徴を知ることができました。

印象に残ったのは、センダイムシクイの「シヨウチュウウイッパイグイ(焼酎一杯グイ)」という鳴き声で、最後に濁った声で「グイ」というのが初心者にもわかりやすいです。午後の訪問は、「エルツおもちゃ博物館」で木のおもちゃを鑑賞しました。鉱山の町として発展したドイツのエルツ地方では、その後、家内工業的に行き詰った木製のおもちゃが徐々に技術の進歩と共に広まっていった歴史が、係員から説明されました。

代表的なみるみ割り人形は見たことがある人も多いと思います。童話の世界を表現したもの、当時の生活や職業を表現したものなど、細かくて目をこらしたくなる作品が多くありました。



### 初夏のスカイパーク ウォーキング



6月17日(金)、福祉ひろばとの共催でスカイパークウォーキングが行われました。体力づくりサポーターの島田さんによるストレッチを

行った後、迷路、展望台を経由し、バラ園までウォーキングをしました。バラ園はすでにたくさんの人でにぎわっていました。バラのアーチを通

り抜けるたびに、甘い香りと色とりどりの花にひきつけられて、時間を忘れてしまうほどでした。参加者は、珍しいバラや気に入った花をスマホで撮ったり、ベンチでゆっくり眺めたりして、思い思いに楽しんでいました。1時間半ほどのウォーキングでしたが、爽快感を味わい、癒された時間を過ごしました。

### 松代象山地下壕など見学

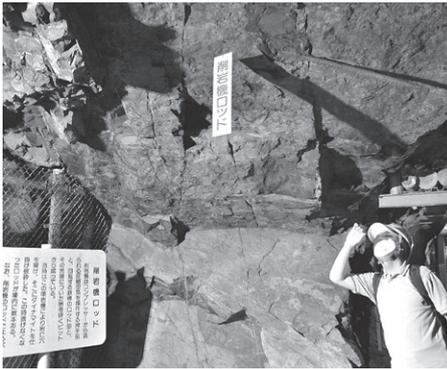
6月27日(月)、今井地区人権啓発推進協議会主催で松代象山地下壕・舞鶴山を見学しました。参加人数は16名でした。

最初に第二次世界大戦の遺跡、松代象山地下壕を見学しました。ガイドは、NPO法人松代大本営平和記念館の松樹さんで、丁寧にわかりやすく伝えてくださいました。松代大本営地下壕は、舞鶴山を中心として皆神山、象山に碁盤の目のように掘り抜かれ、その延長は、10km余りに及んでいます。

見学コースは、500mの区間で、岩に突き刺さったままの削岩用ロッド、天盤にある壕の東西、水平を測った測点、ずりを運んだトロッコの

枕木跡などを見ることができません。建設の労働力の主体は朝鮮の人々で、日本人も含め1万人ほどが劣悪な環境で危険な作業に従事したといわれています。

次に舞鶴山地下壕と天皇御座所などを見学しました。戦争遺跡を通して戦争の実相を学び考えることの重要さが実感できました。



俳句教室と交流

今井の俳句会「葱坊主」の皆さんは毎年、今井小学校5年生と俳句教室で交流をしています。今年も6月20日(月)、16名の皆さんと楽しく学習に取り組みました。俳句の先生は田中悦郎さんが務めました。授業が始まるや、すうつと子どもたちの目線で楽しそうに言葉を掛ける田中さんに、子どもたちの表情も和らいでいきました。

俳句の材料を探そう

- ①「今朝登校時に何か見たものはある？」の問いに「ミミズ、蛙、毛虫、チョウチョ、猫、田んぼ、蟻の引越し」
- ②「学校の行事を教えてください」の問いにも、さつと児童の手が上がります。
- ③「あなたの好きなものや場所、人は？」へお母さん、ソフトテニス、スキー、ピアノ、野球、おじいちゃん、おばあちゃん、馬肉、トマト」材料が沢山集まりました。

俳句には

季節が必ず入ること

黒板いっぱい書かれた俳句の材料から季節をさがします。「猫」は季節じゃないですけれど「子猫」は季節なんですよ」とアドバイスも。

「夏のチョウ」の季節を使って俳句作りに挑戦！

出来立ての一部を紹介します。

◇夏のちようおもしろそうだ おにごい

◇夏のちようひらひらとんでひとり旅

◇夏のちようきれいな羽で飛んでいる

◇夏のちようひかげか花がさがすのは

◇今日の授業の感想発表

◇いろんな季節があるんだな

◇文字数じゃなくて五七五のリズムで作るんだ

◇ひとつの俳句に季節はひとつだけなんだ

◇等

田中先生の言葉掛けに、素直な気持ちで反応する5年生の皆さんの授業は心温まるものでした。この授業をきっかけに、瑞々しい感性を十分に発揮して俳句作りに挑戦していくことでしょう。文化祭合同展示が出来たら良いですね。



3年ぶりに開催！

第35回今井地区

支部対抗球技大会

7月3日(日)、3年ぶりに今井地区支部対抗球技大会が開催されました。コロナの終息とはいえませんが、コロナ対策、熱中症に注意しながら大会が進められました。会場のあちこちでは、ワンプレーワンプレーに声援や笑い声が沸き上がって、3年ぶりとは思えない熱戦が楽しそうに繰り広げられました。

参加者は「昨日までの暑さに比べ、むしろ涼しいけど今日はいいねー」「ストレス発散で気持ちいい！」「明日いや、明後日かな？」久々に筋肉痛だぞ！と流れる汗を拭いていました。

大会結果

●ソフトボール 36歳以上

優勝 西耕地 準優勝 南耕地

●ソフトボール(年齢制限なし)

優勝 公園西 準優勝 西耕地

●女子バレーボール

優勝 南耕地 準優勝 西原

●マレットゴルフ

優勝 公園西 準優勝 西耕地

●ゲートボール

申し込みなしのため、中止



マレットゴルフ



女子バレーボール



ソフトボール

北風南風

コロナ禍で私の日常生活にも変化があった。人と集まりづらくなり、長年続けたフットサルをやめた。そして健康のためウォーキングを始めた。目に見える結果を得るには目に見えない日々の積み重ねが大事だ。しかし、好きなことしか長続きはしない。もう、運動ではなく、趣味でストレス発散して健康を維持しよう。コーヒー生豆をインターネットで購入し自分で焙煎する。以前使っていた焙煎機は故障した。新品は高価だ。ポップコーンメーカーでやってみたら成功！ムラなく煎るため工夫をする時間は楽しい。時間があれば趣味も広がる。映画館で映画を直近2年半の間に120作品以上観た。コロナ対策で前後左右の座席を空けていて快適だ。過去の作品や見逃し作品は定額料金で楽しめる配信サービスや宅配のDVDレンタルなどのサブスクリプションを契約して利用。また、読書は空き時間や移動時間を効率よく使うため、本を朗読してくれるサブスクで。ああ便利だ。年に一度の健康診断、目に見える結果が数値に。運動しないとまずいな。(T・M)